

人口減少地域における 関係人口の創出

－富山県朝日町を対象とした分析と提言－

富山大学 中村和之ゼミ

研究の動機

日本の人口が減少していく中で、それに伴い地方の市町村人口も減少していつている。

そんな中、2010年から2040年にかけて女性の20歳から39歳の若年人口が5割以下に減少し、将来存続できなくなるおそれがある市町村を指す「消滅可能性都市」に富山県朝日町が該当している。

そこで、そのような危機に面した朝日町のような市町村をどのようにして活性化させるべきか、どのようにしたら活性化することが出来るのかを「関係人口」というものを主軸にして、人口減少をできるかぎり抑えるために朝日町では具体的にどのようなことをするべきなのかを研究した。

消滅可能性都市

- 「消滅可能性都市」とは2010年から2040年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市町村のこと
- 推計によると、2040年には全国896の市町村が消滅可能性都市に該当、うち、523市町村は人口が1万人未満となり、消滅の可能性がさらに高い
- 今回ターゲットの富山県朝日町のほかに愛知県の新城市、群馬県の南牧村、岐阜県の白川町などが該当

消滅可能性都市の 朝日町

【富山県朝日町】

- 富山県の東端部に位置し、入善町、黒部市に隣接する。
- 主な観光資源は
ヒスイ海岸と春の四重奏など。
- 産業構造は
建設業の生産額が最も高く、次いで公共サービス、電気機械と続く。



(出典 : map-it.azurewebsite.net)



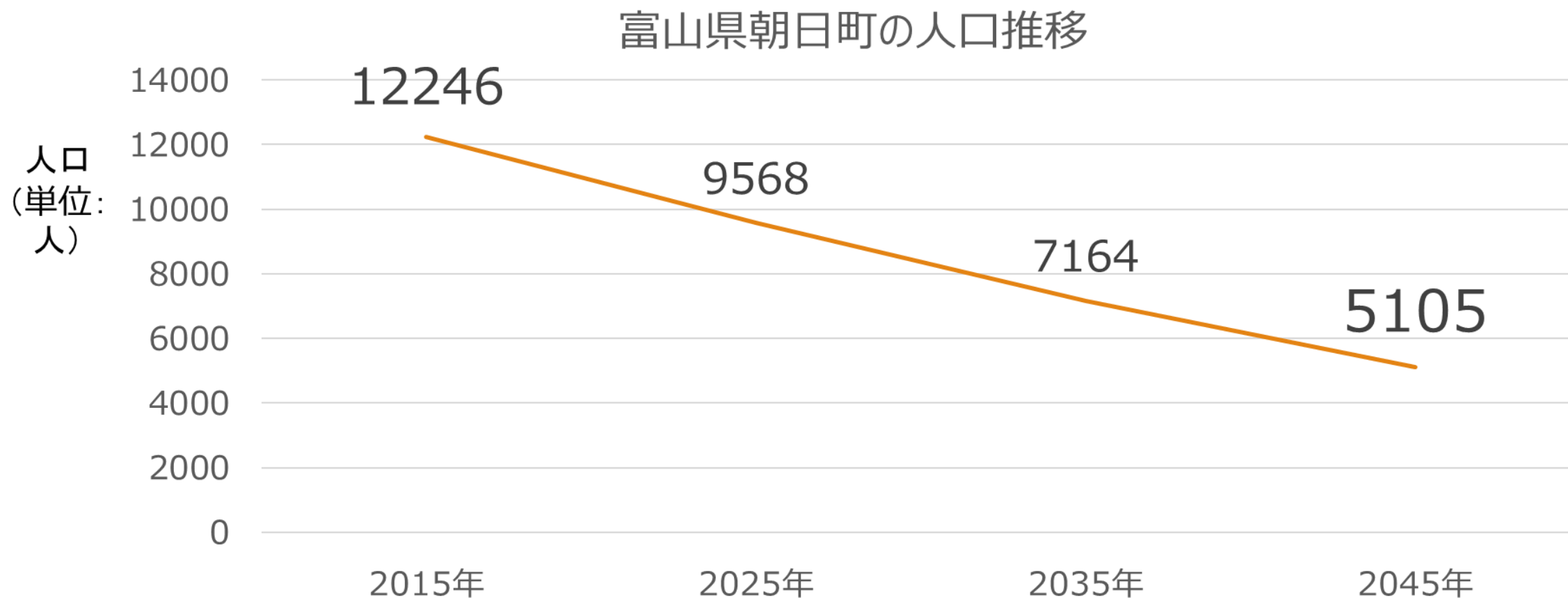
(出典 : <https://www.asahi-tabi.com>)



(出典 : <https://www.asahi-tabi.com/sijuusou/>)

朝日町の人口推計

出典：国立社会保障・人口問題研究所 (<http://www.ipss.go.jp/>)



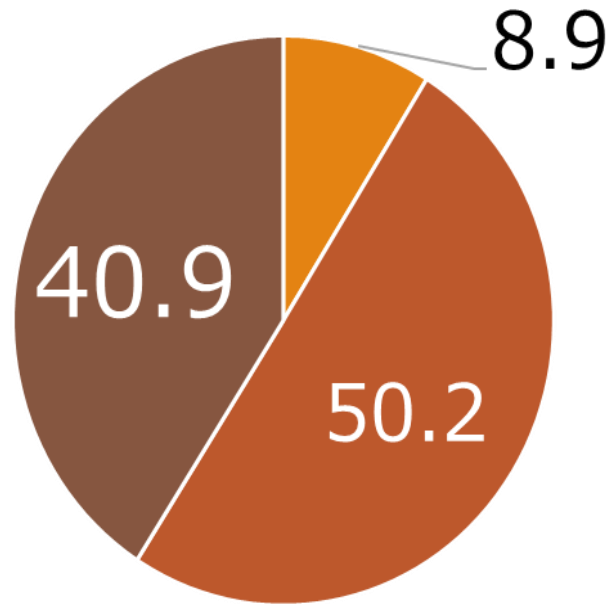
人口増減率(2010年～2015年)



出典 : ieбен <https://ieбен.net/>

現在の人口構成

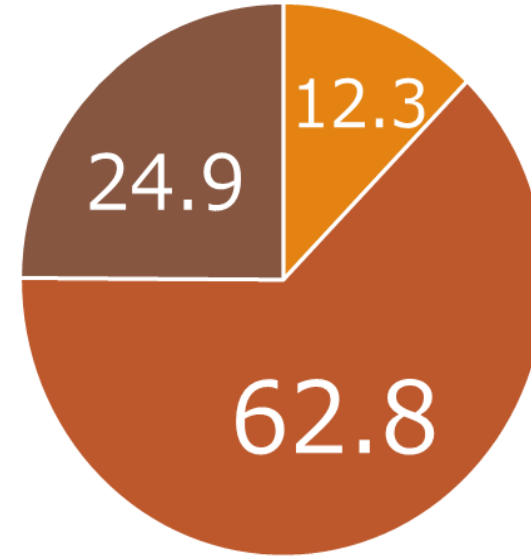
富山県朝日町



■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口

出典：朝日町ホームページ<https://www.town.asahi.toyama.jp/>

愛知県名古屋市



■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口

名古屋市公式ウェブサイト<http://www.city.nagoya.jp/index.html>

老年人口が多いことから生じる弊害

老年人口が生産年齢人口を上回ると、

- 働き手が減少する
- 子どもの数が少なくなる
- 若者が地域外へ流出する

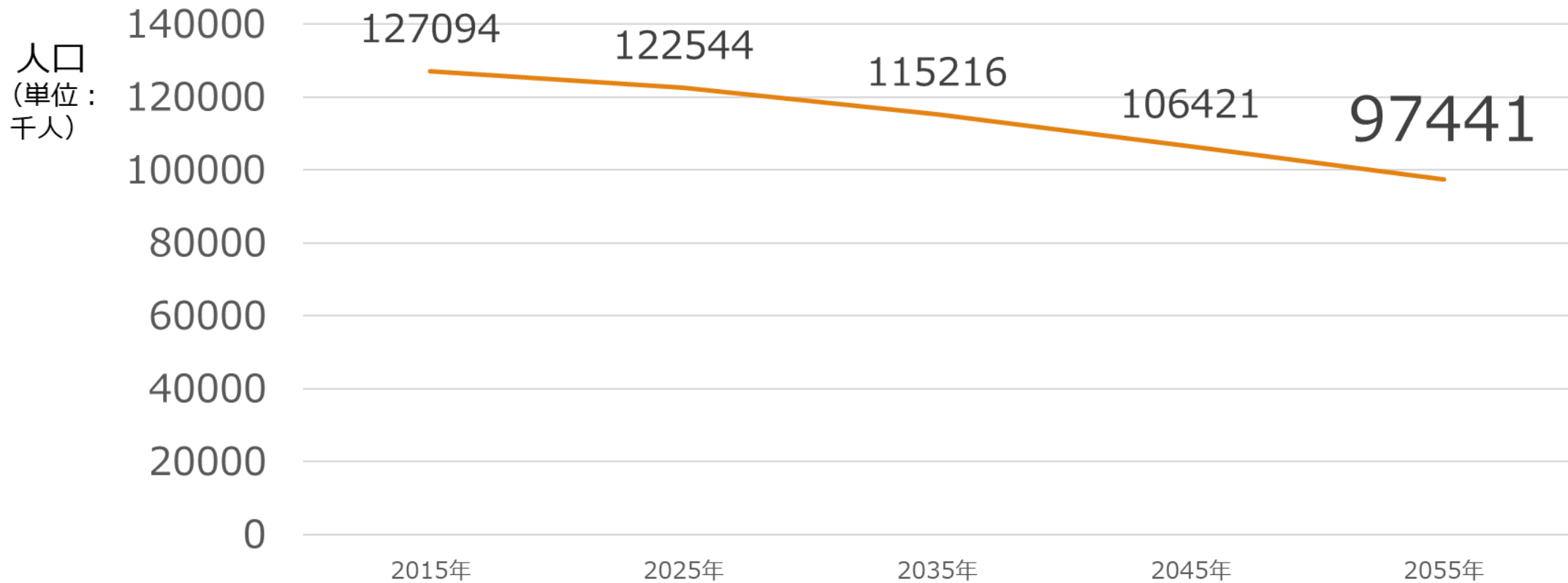
⇒人口減少が加速する

これは富山県朝日町だけの問題ではない

日本の人口の減少

出典：国立社会保障・人口問題研究所 (<http://www.ipss.go.jp/>)

現在の日本の人口は1億2622万人、2055年には9744万人にまで減少すると推計されている



では、朝日町をいかにして活性化するか

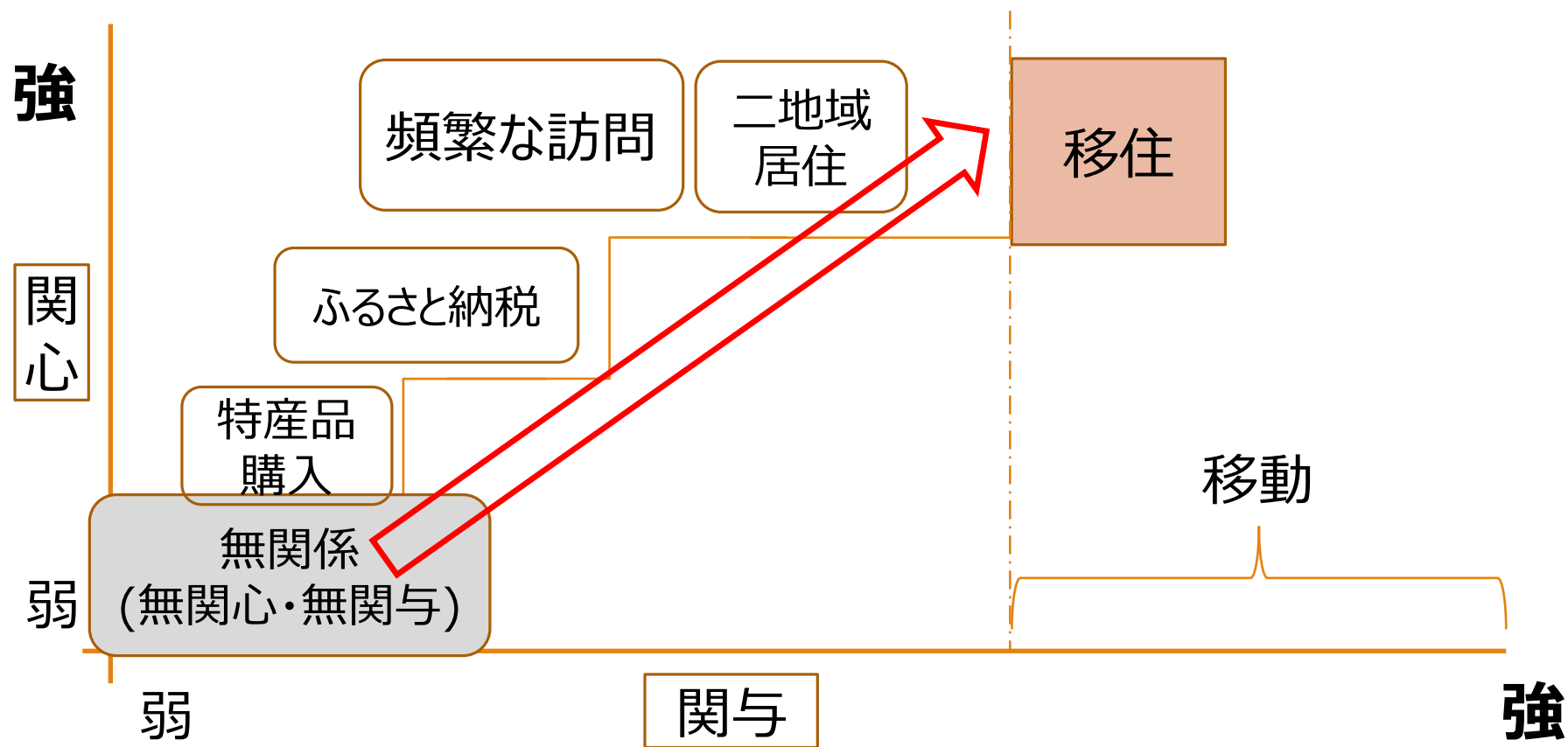
「関係人口」とは

- 観光などでその地域を訪れる「交流人口」と、その地域に移住した「定住人口」の間に分布する、地域に多様に関わる人々のこと。

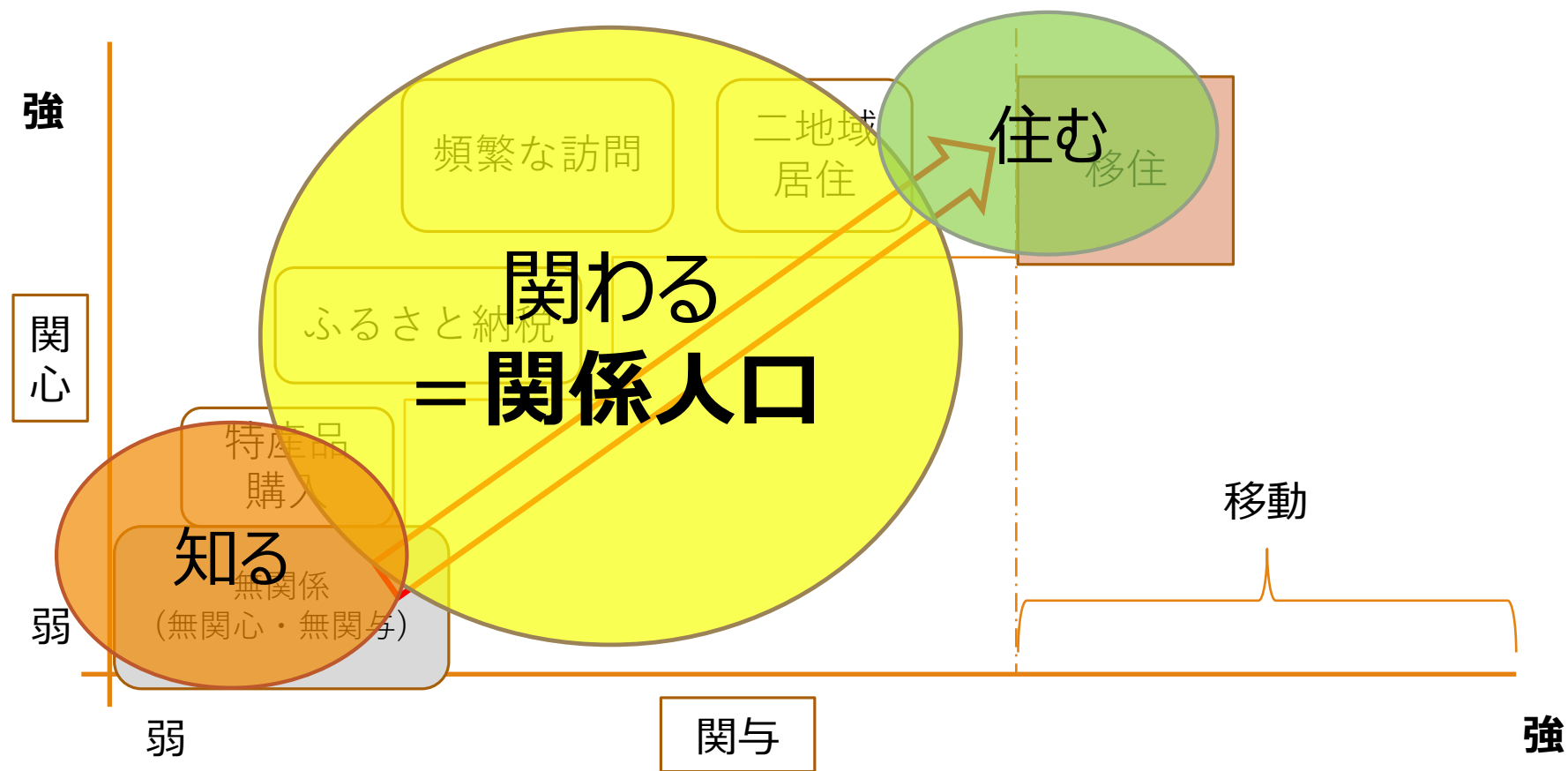
→具体例：二地域居住、特産品の購入、ふるさと納税の寄付

- 交流人口や定住人口と比較して容易に増やすことができる。

「関係人口」とは 図式①



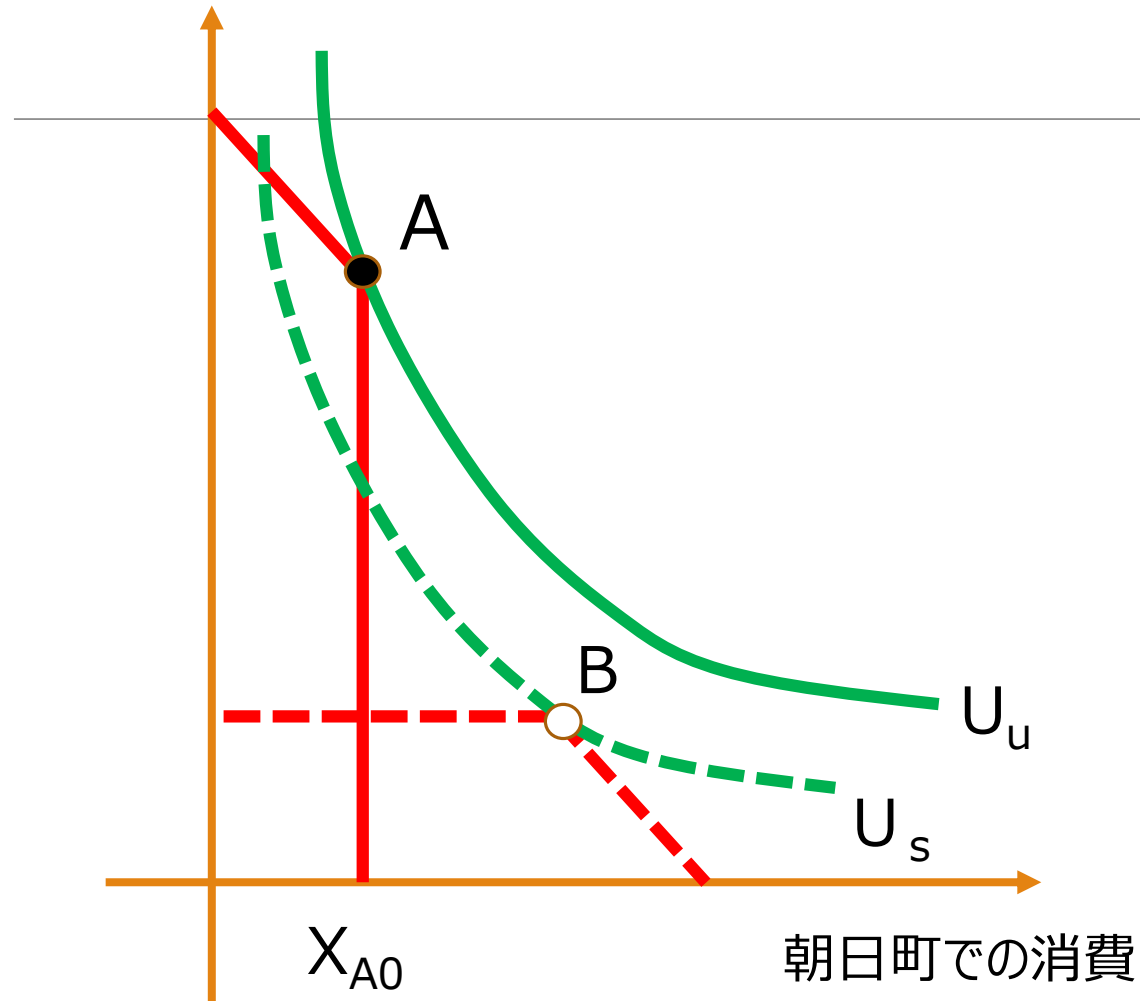
「関係人口」とは 図式②



なぜ関係人口が重要なのか

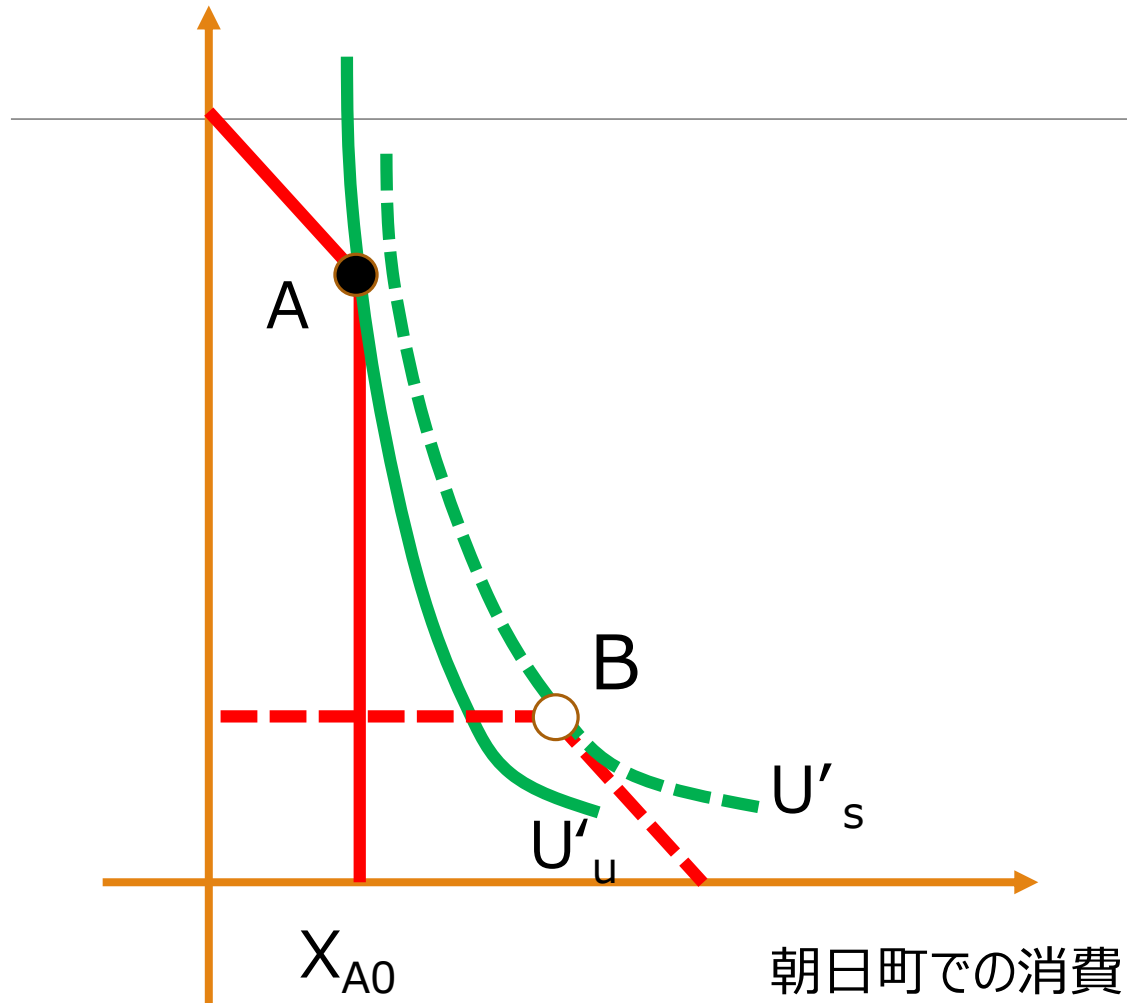
【都市部に居住している人の効用】

都市部での消費



- 人々は都市部での消費と朝日町での消費から満足（効用）を得るとする
- 時間や所得の制約で朝日町では X_{A0} で以上の消費ができない
- 都市部の人々の無差別曲線が U_u とすれば図中の**A点**が均衡点になる
→これは、たまに朝日町に観光に来る程度の関係
- この人がもしも朝日町に住む（移住）することになれば、所得は都市部に住んでいる時よりも減少する
- 都市部での消費は制約されるので予算制約は**赤点線**で表される
- 効用は無差別曲線 U_s と予算制約線が接するところ（端点）**B点**となる
→結局、この人はB点よりもA点において高い効用を得るので、**都市部に住む**。

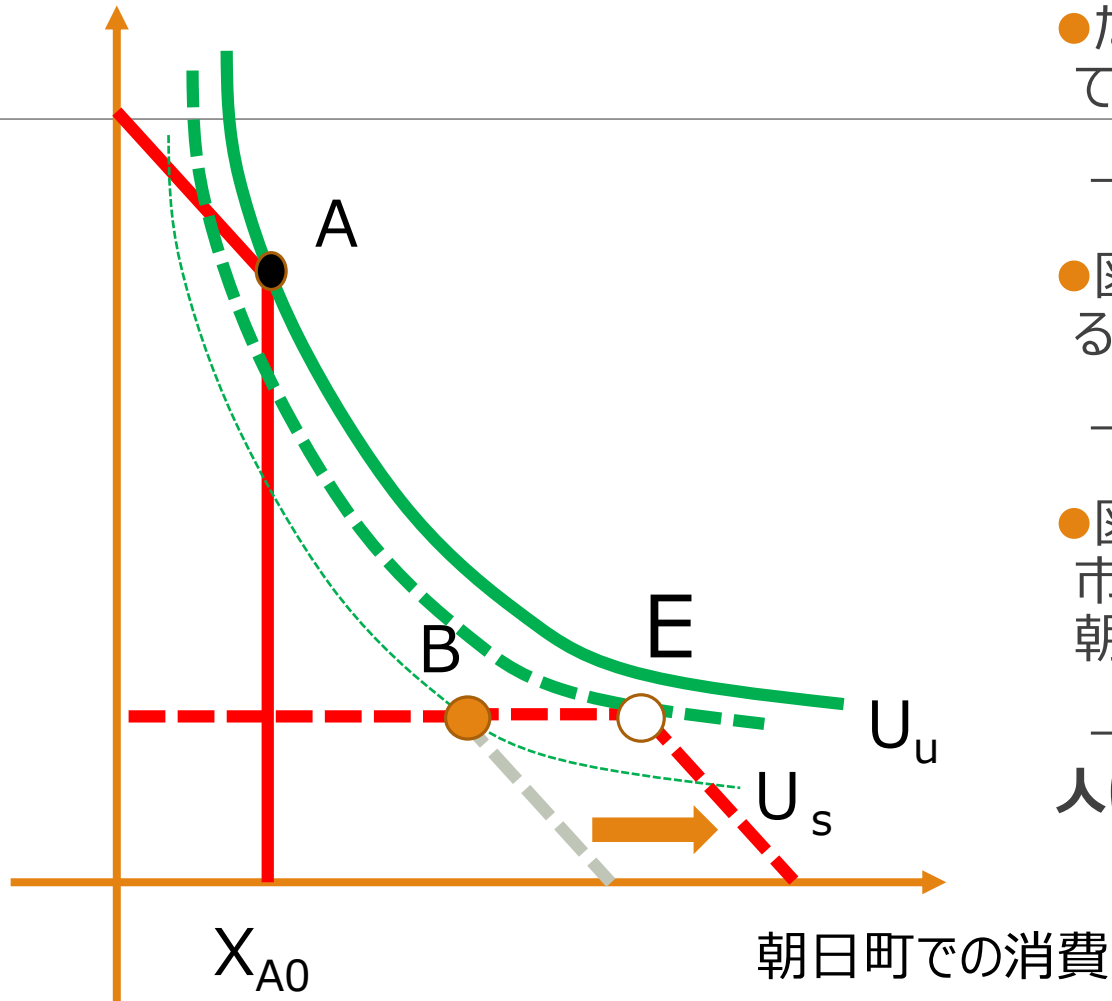
都市部での消費



【朝日町に住んでいる人の効用】

- 左図は予算制約線と無差別曲線
- 時間や所得の制約で朝日町で X_{A0} で以上の消費ができない
- 人々の満足は無差別曲線で表される
- この人が都市部に住むとすれば **A点** が均衡点になる
- しかし、そのまま朝日町に住んで **B点** を選択する方が効用が高いため、この人は朝日町にとどまる

都市部での消費



【定住支援策の効果】

- たとえば，朝日町が町内への移住に際して所得を補助したとする

→予算制約線が変化

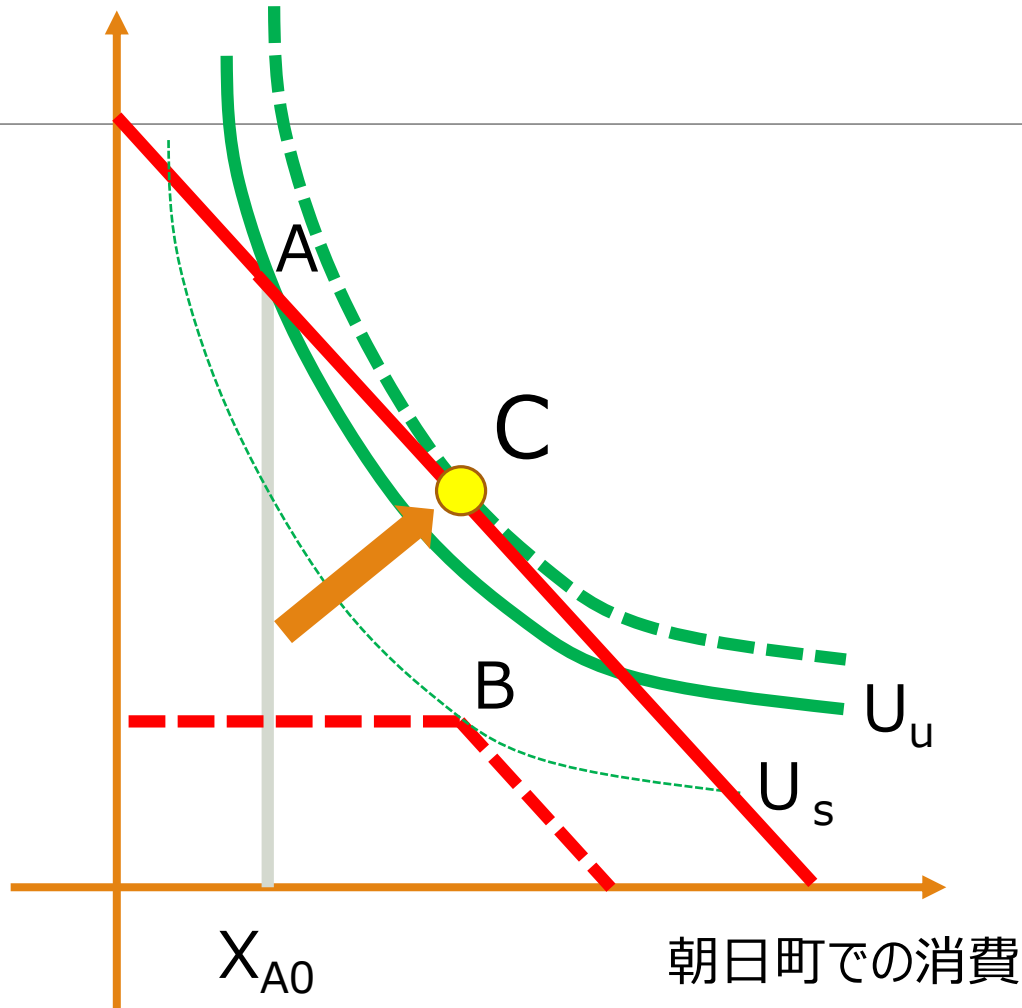
- 図中の赤色の線は都市部に居住している人の予算制約線

→均衡点はE点になる

- 図の例では，所得が補助されてもなお都市部に住む方が高い効用が得られるので，朝日町には住まない

→元々，都市部に居住することを好む人に朝日町に住んでもらうことは困難

都市部での消費



【住まいを変えずに朝日町での消費をしやすくする政策】

⇒関係人口を創出する政策

たとえば……

- 都市部に本拠を置きつつ朝日町に滞在して仕事ができる
- 朝日町に来て少しだけ仕事をする
→予算制約線が変化⇒図中の**C点**が選択
- 都市部に住んでいる人の効用は高まる
- 朝日町での消費は増える

→予算制約線を図のように変化させるためには何が必要か

先行文献

出典：大江万梨他(2019)『学術雑誌論文 兵庫地理』
「http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/90006046」

『関係人口の増加に向けた提案と関係人口が果たす役割に関する考察：家島諸島を事例に』

→大江他(2019)は、兵庫県姫路市の家島諸島を調査対象とし、関係人口の増加と関係人口が今後の地域で果たす役割を考察した。その結果、大江他(2019)は、関係人口として期待される人たちは、自然豊かな地域への関心、そこでの活動への参加意欲が高い傾向にあるが、「無関心・無関与」「交流人口」から「関係人口」へのステップアップが大きな壁になっている、と結論付けている。

先行研究を参考に

大江他(2019)の先行研究から「無関心・無関与」「交流人口」から「関係人口」へのステップアップが大きな壁になっている、ということが結論付けられたことから、私たちは

「どのようにすればその壁を乗り越えられるか」
ということを研究の重点とした。

どうしたら関係人口が増加するのかを考える

研究方法：以下 3 カ所で行ったアンケート調査と昭和女子大学の方からの聞き取り調査

- ヒスイ海岸
- ビーチボール大会
- 富山大学経済学部一年生
- 昭和女子大学の方からの聞き取り調査

ヒスイ海岸でのアンケート調査

ヒスイ海岸でのアンケート調査の概要 →(交流人口につながる)

- 日時

8月10日(土) 8:30～16:00

8月11日(日) 8:30～16:00

- アンケート調査

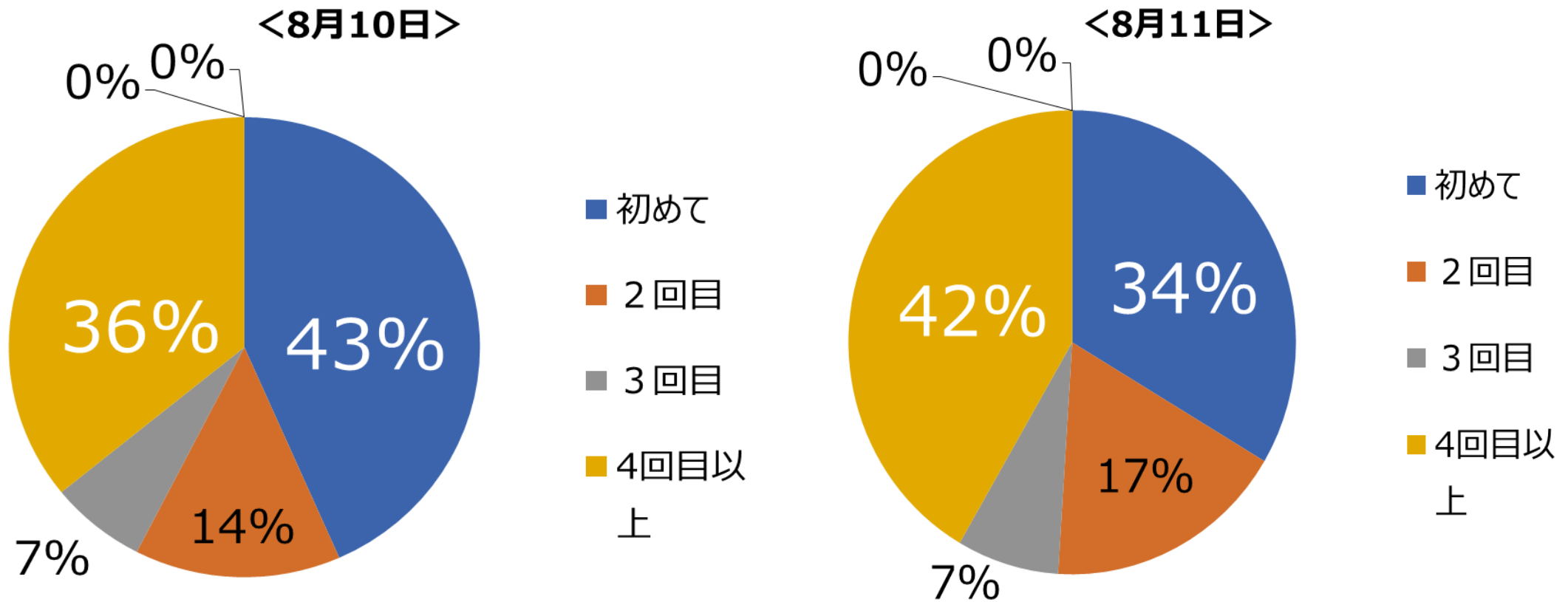
ヒスイテラス周辺、ヒスイ海岸駐車場周辺の2地点に調査員を二人設置し、アンケートを回収

- 回収枚数：253枚

8月10日(土) 104枚

8月11日(日) 149枚

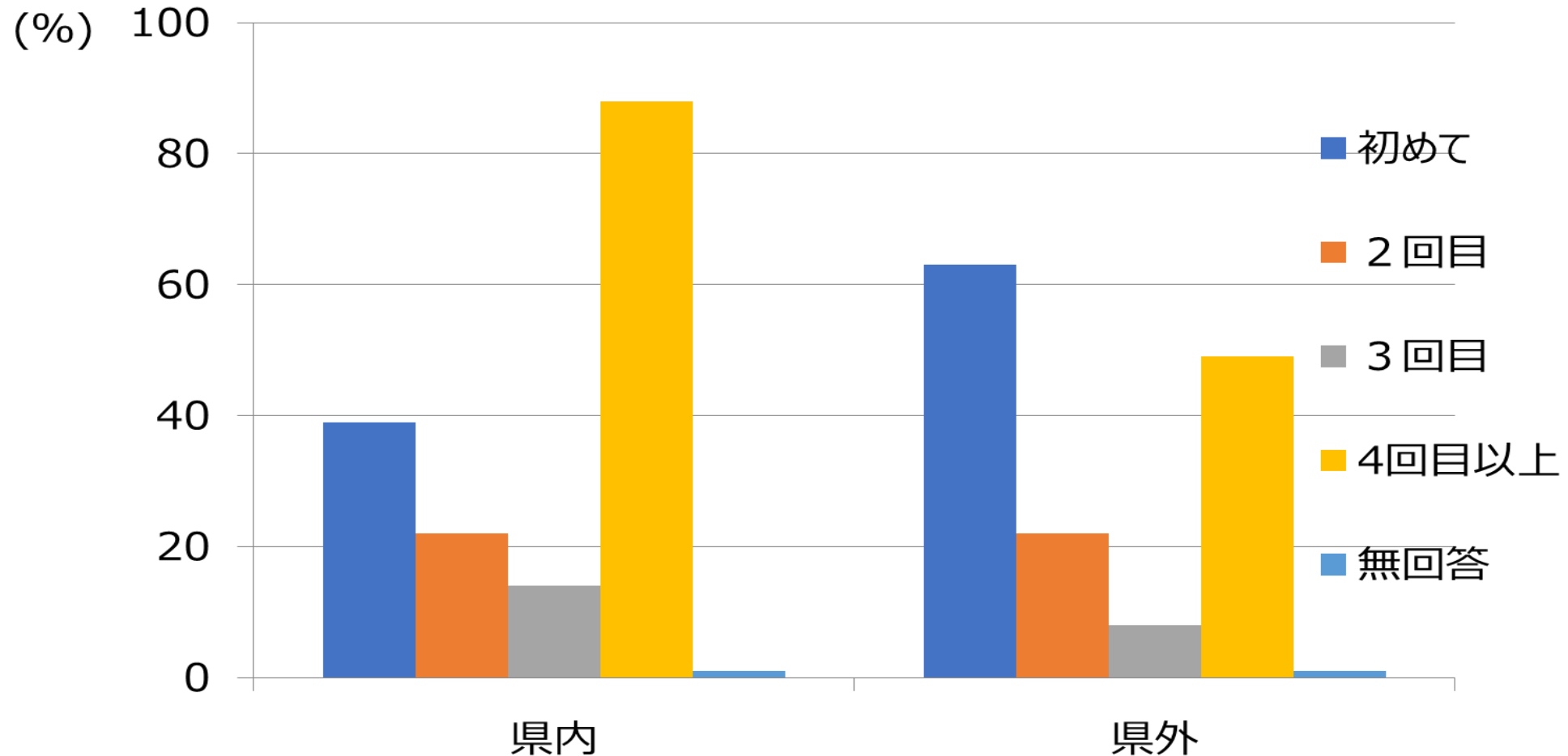
訪問者のリピーターの割合



ヒスイ海岸訪問者に対するアンケート調査 (N = 253)

県内・県外別の訪問回数

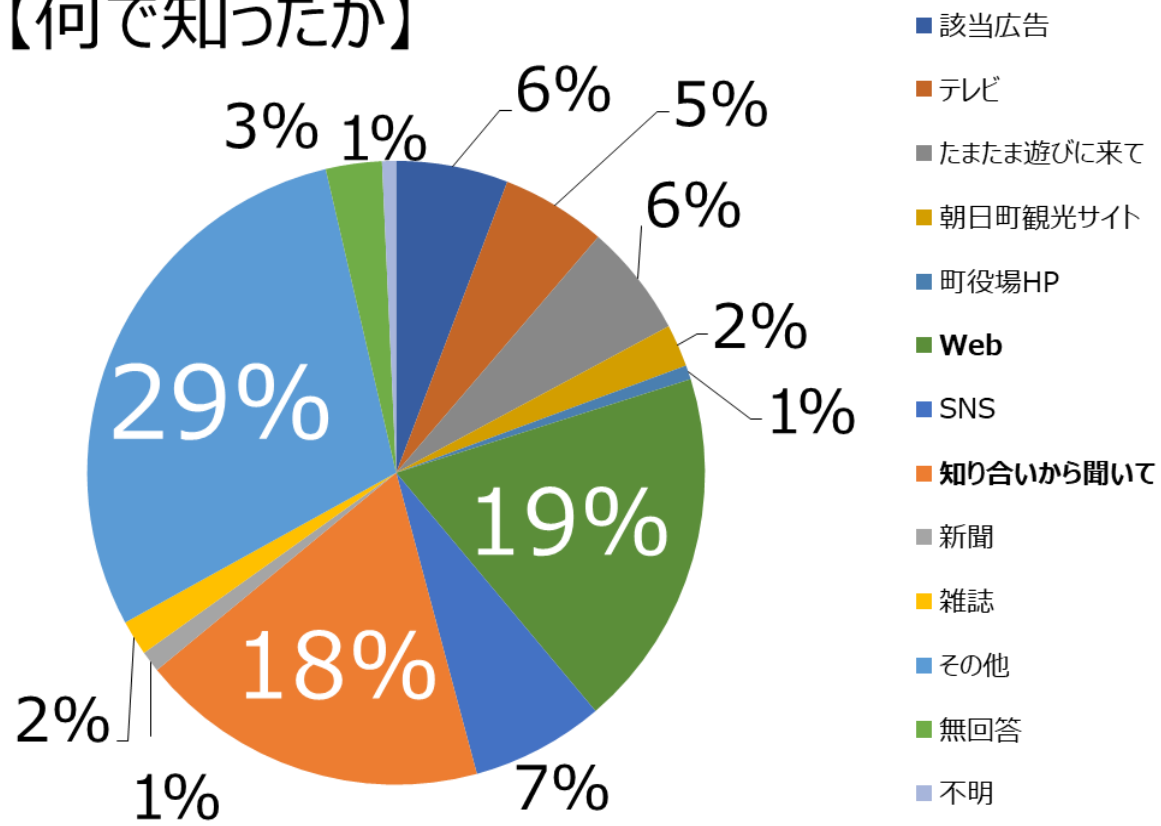
ヒスイ海岸訪問者に対するアンケート調査 (N = 253)



訪れるきっかけ

ヒスイ海岸訪問者に対するアンケート調査（N = 253）

【何で知ったか】



→「Web」、「知り合いから聞いて」、「元々地元である」という人が多かった

ビーチボール大会でのアンケート調査

ビーチボール大会での 聞き取り調査の概要 →(関係人口につながる)

- 日時

2019年9月19(日)

8:00~13:00

- アンケート調査

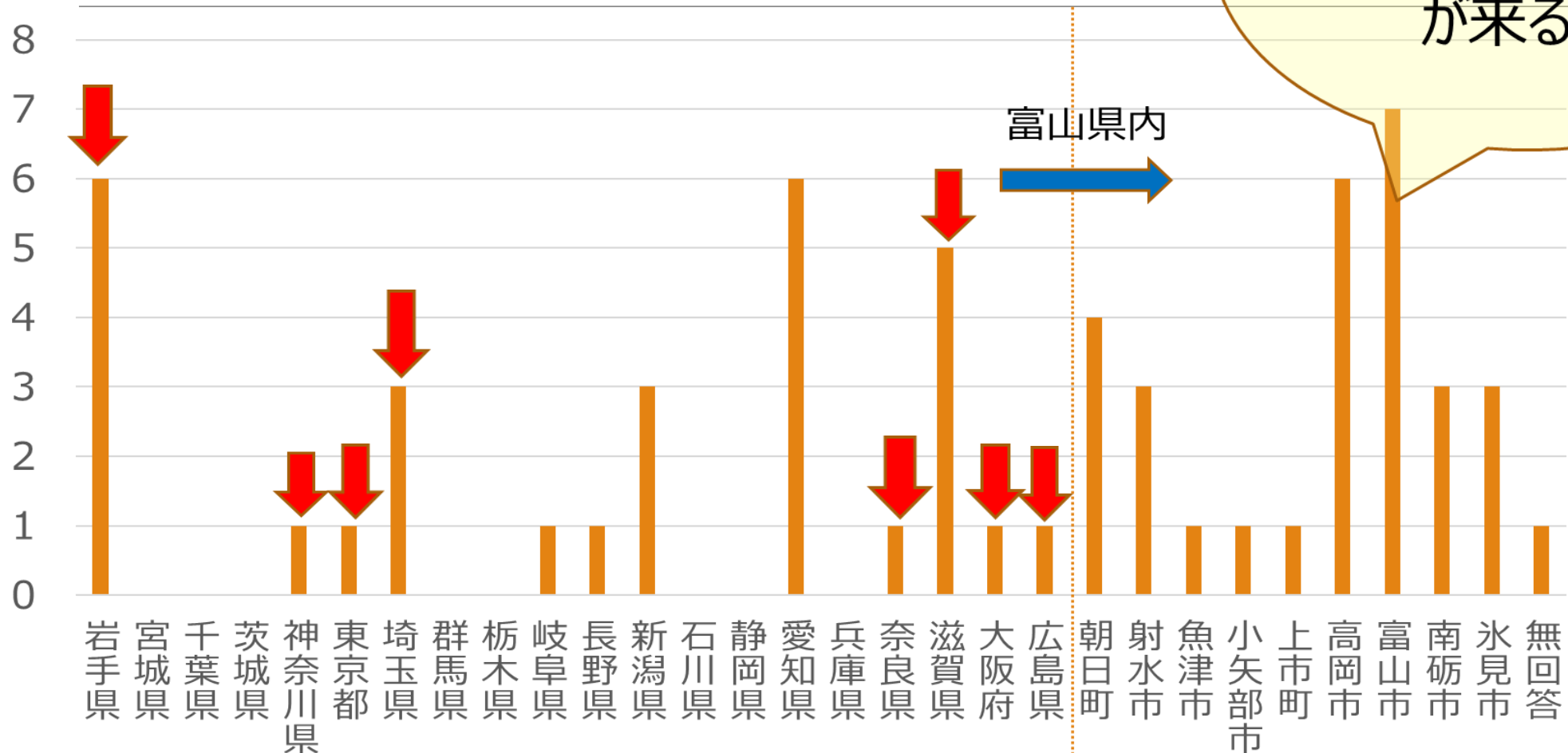
朝日町文化体育センターにて
アンケートを回収

- 回答枚数：60枚



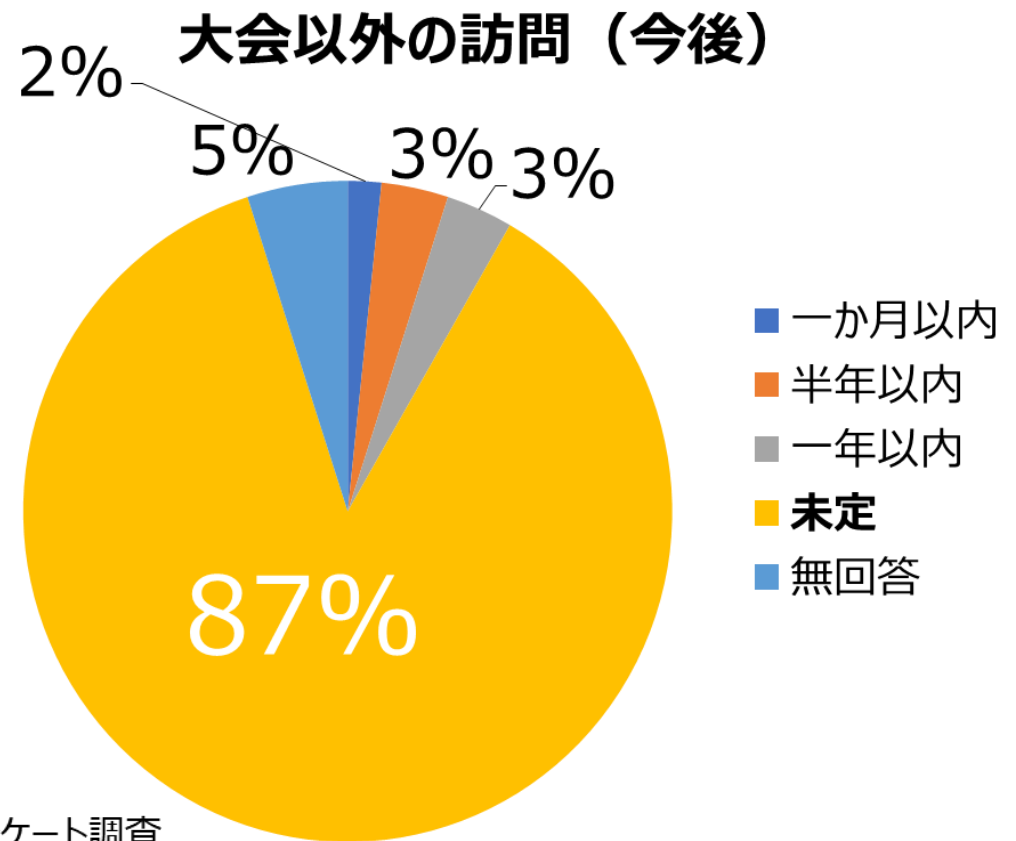
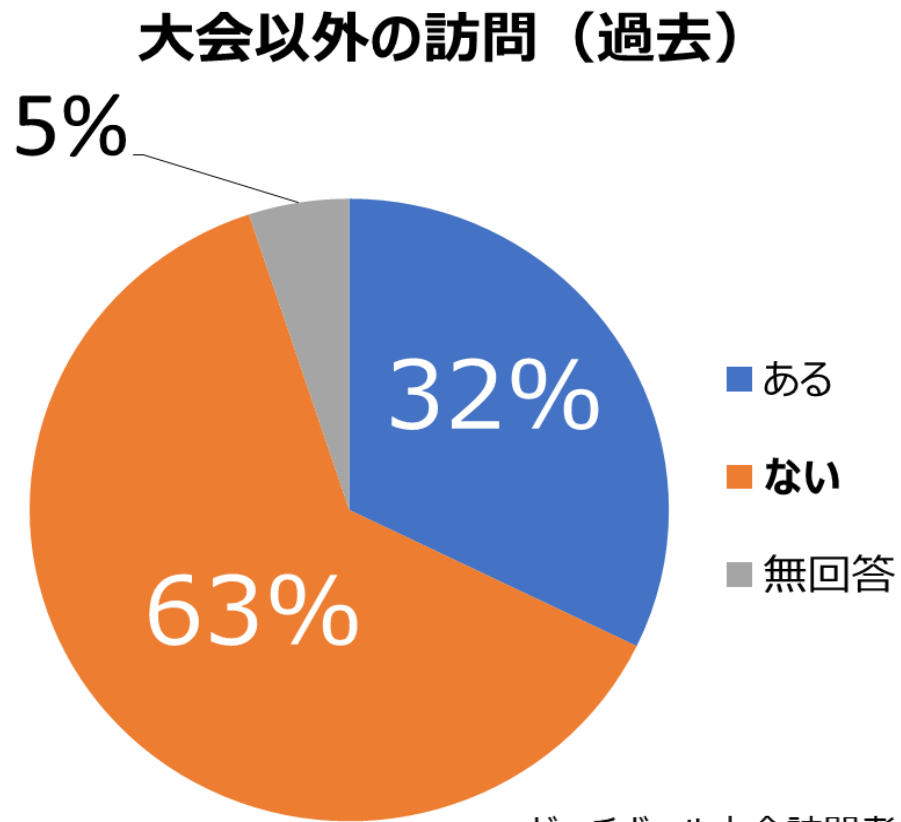
都道府県別 訪問者 割合

ビーチボール大会訪問者に対するアンケート調査
(N=60)



イベントがあれば、
遠くの県からも人
が来る！

ビーチボール大会以外での訪問はあるか

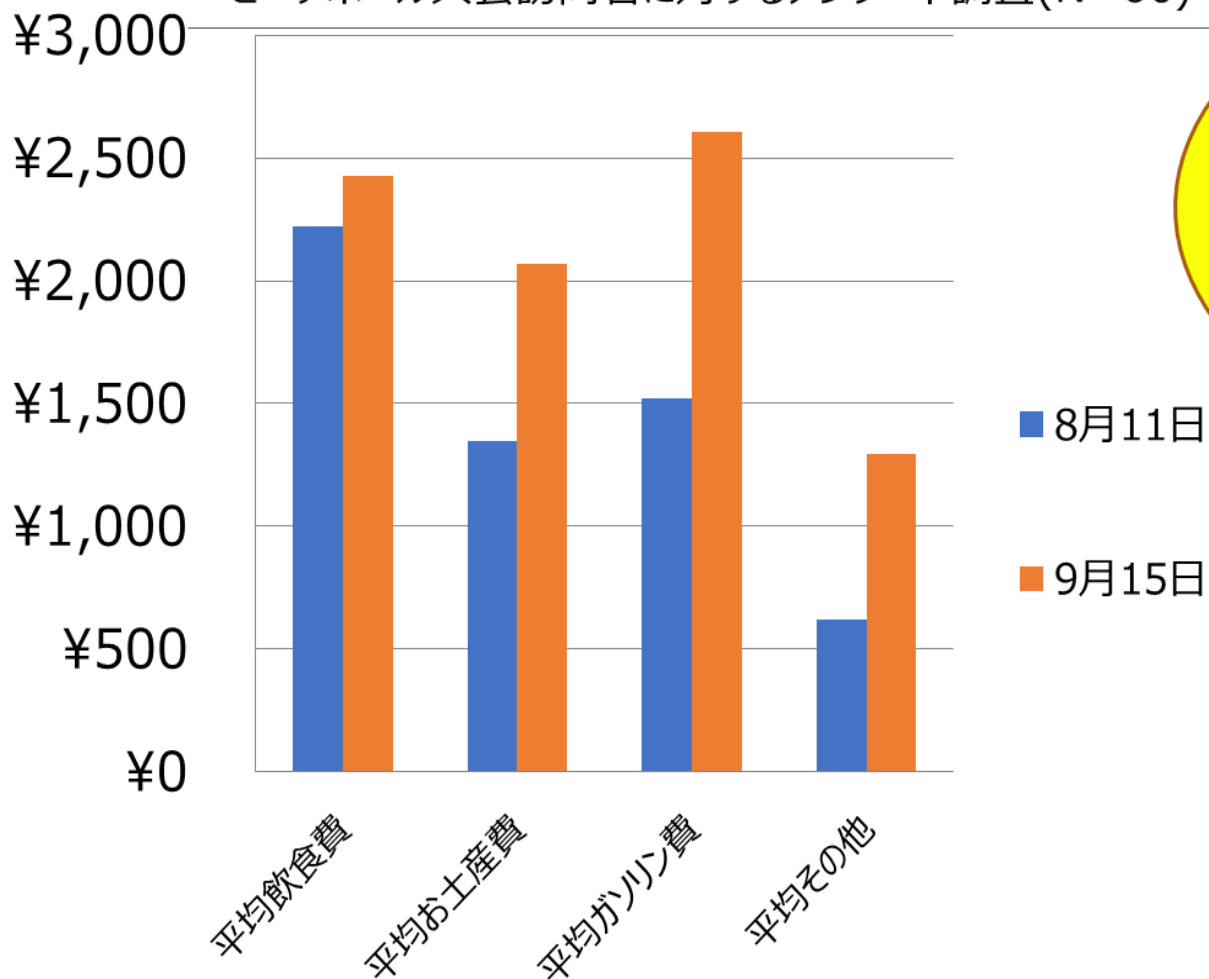


ビーチボール大会訪問者に対するアンケート調査
(N= 60)

ヒスイ海岸・ビーチボール大会で使われた 金額の集計

8月11日と9月15日の平均支出額の比較

ヒスイ海岸訪問者に対するアンケート調査 (N=253)
ビーチボール大会訪問者に対するアンケート調査(N=60)



→8月11日と9月15日（ビーチボール大会）での平均支出額の比較では、**すべての面で9月15日の平均支出額が上回っていた**しかし、飲食費に大きな違いはなかった

※8月10日の集計を平均支出額の比較で含めていない理由は、アンケート用紙の方式が8月11日と違うため

富山大学経済学部一年生へのアンケート調査

富山大学経済学部一年生への アンケート調査より→(定住人口につながる)

- 日時

10月18日(金) 10:00～10:15

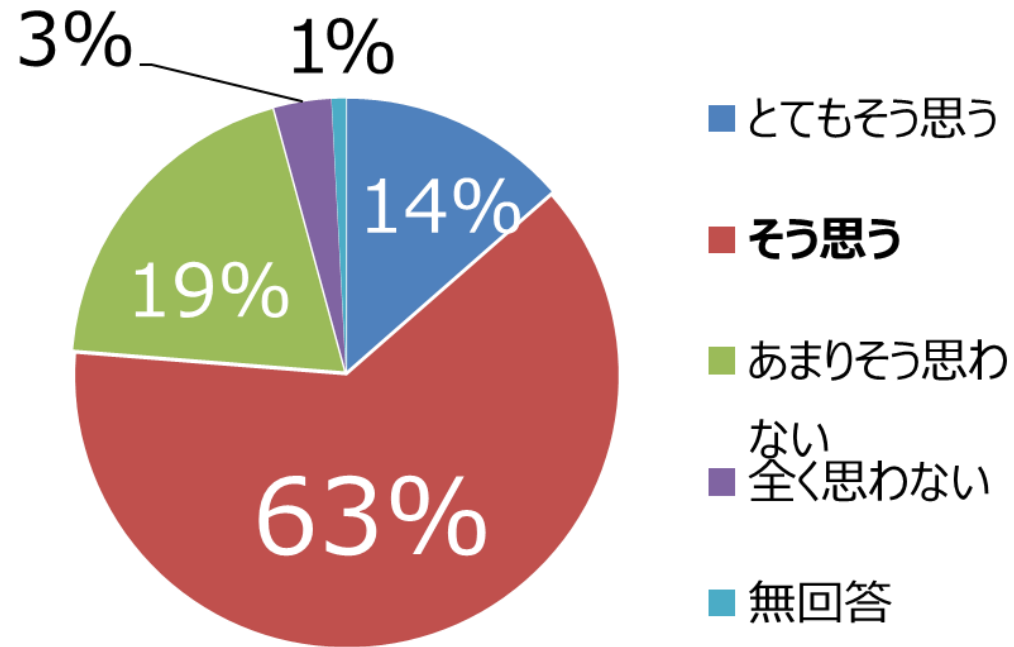
- アンケート調査

富山大学経済学部一年生にアンケート調査

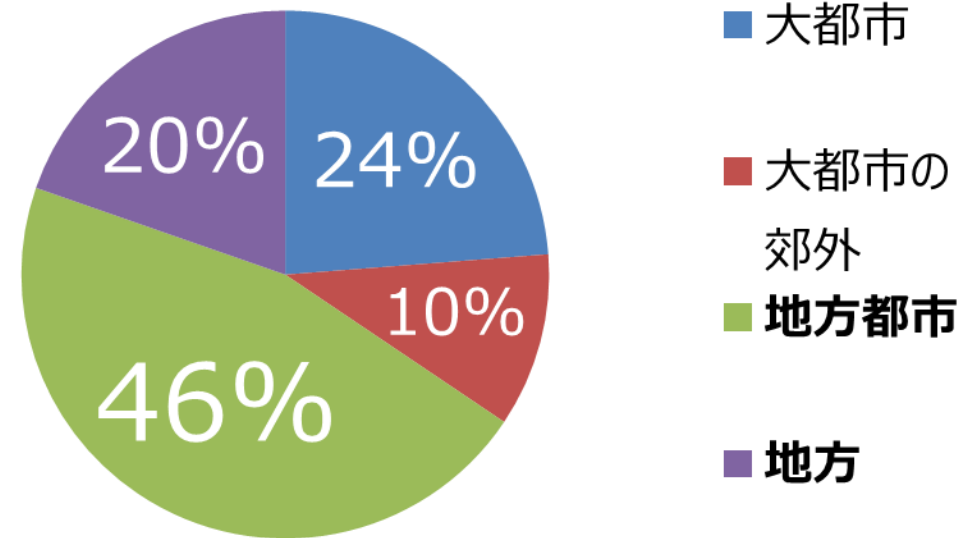
- 回答枚数：118枚

若年層の興味、関心

【人口減少問題に関心があるか】

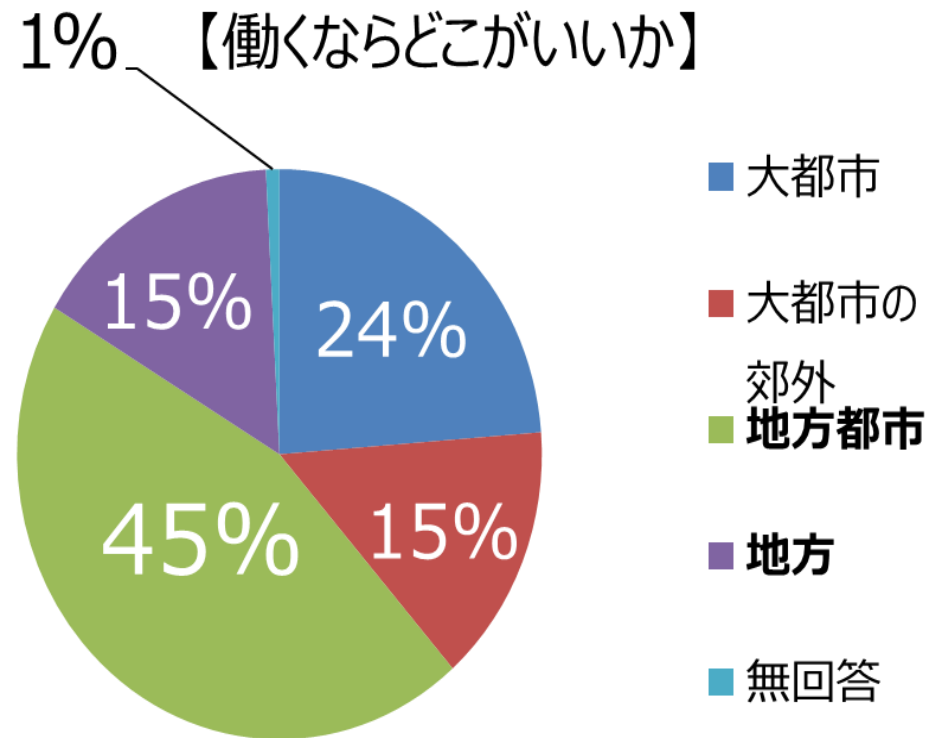
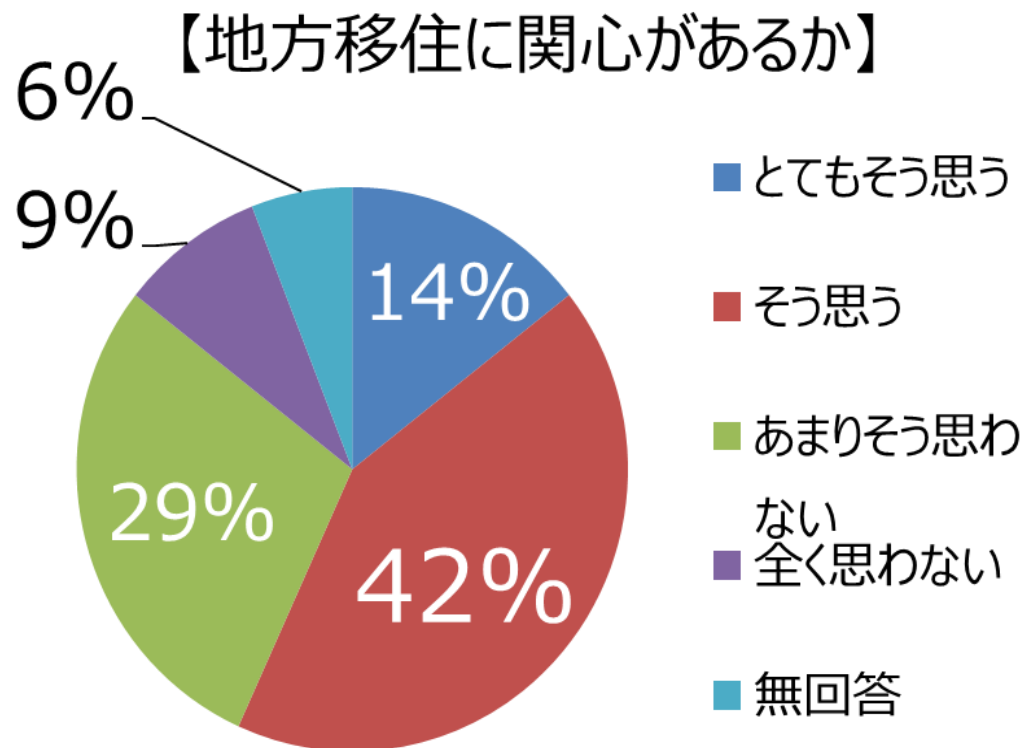


【どこに住みたいか】



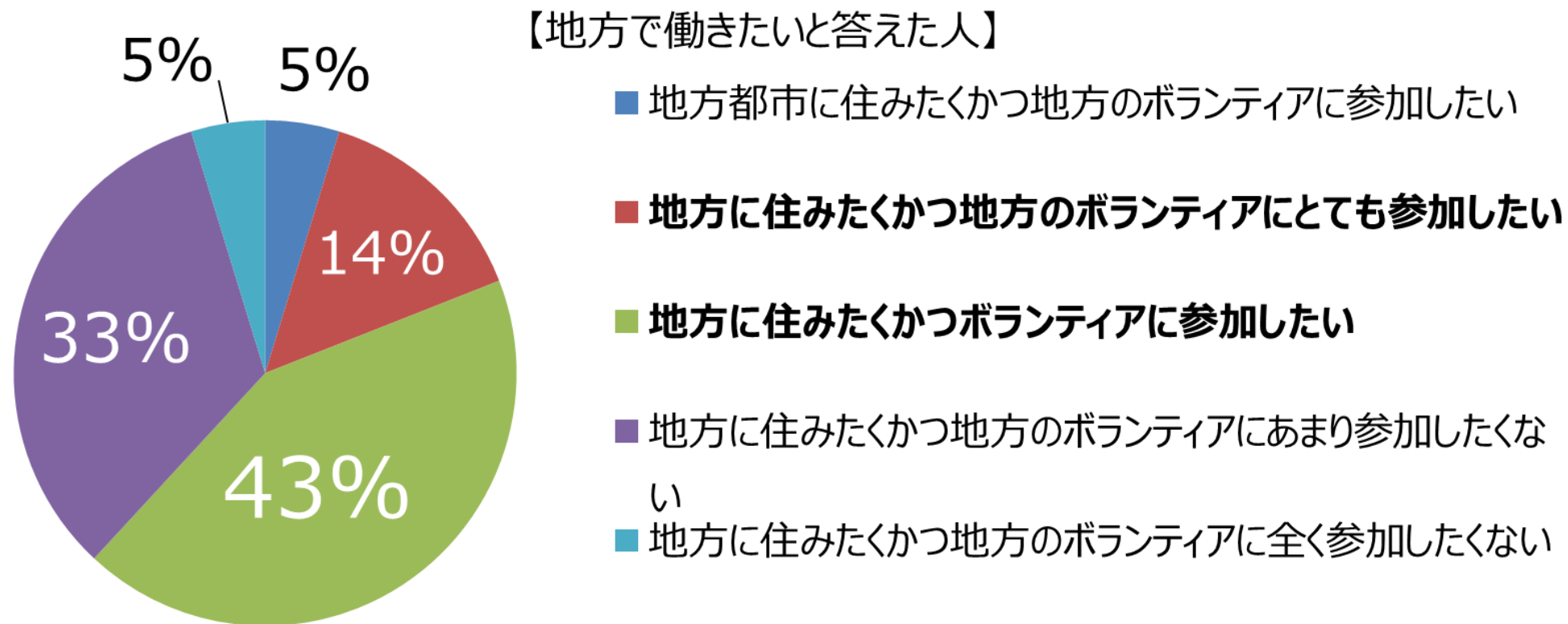
富山大学経済学部 1 年生に対するアンケート調査(N=118)

若年層の地方への興味・関心①



富山大学経済学部 1 年生に対するアンケート調査(N=118)

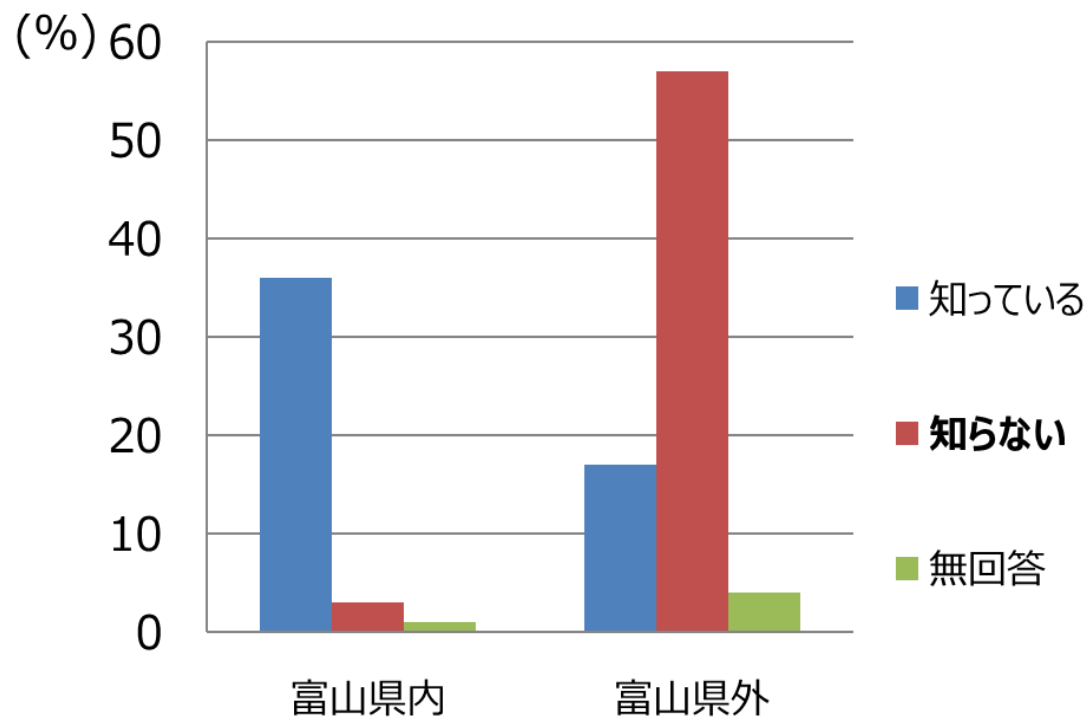
若年層の地方への興味・関心②



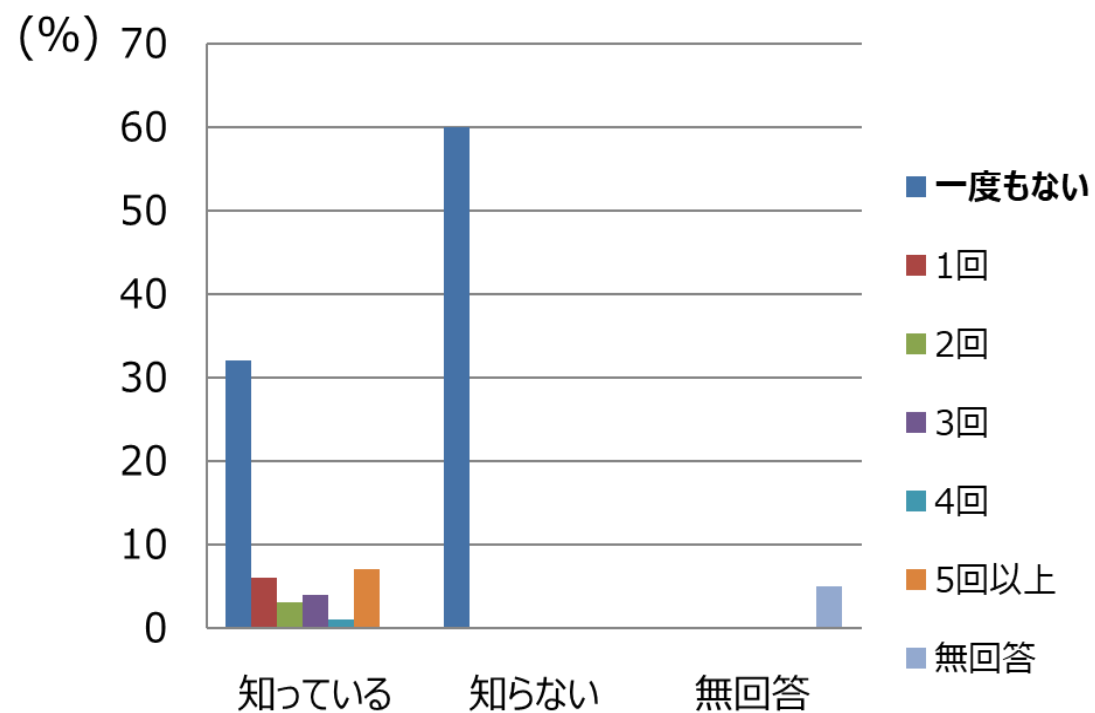
富山大学経済学部 1 年生に対するアンケート調査(N=118)

実際に人口減少が問題になっている地域の 周知率

出身地と朝日町を知っているかどうかの関係



訪問回数と朝日町を知っているかどうかの関係



富山大学経済学部 1 年生に対するアンケート調査
(N=118)

昭和女子大学の方からの聞き取り調査

昭和女子大学 海の家での聞き取り調査から

【昭和女子大学 海の家の活動内容】

- 昭和女子大学自体がこのような地域でのボランティア活動に力を入れている。プロジェクト活動として行っていて、それぞれが興味をもったことを選択して集まったメンバーで構成されている。
- 今回のイベントでは、やきそば・ねばねば丼・もずく丼などの朝日町の食材を使った食べ物の販売を行っていた。

【昭和女子大学が4年間この活動をしている理由】

- 東京にはない魅力があり、今回も2日間を通して町が変わっていくような実感が持てる。



朝日町についての印象として

- ・町の人が優しい
- ・みんな仲が良い
- ・関東にはない「距離感の近さ」が感じられる
- ・町の人からとても歓迎されていると感じる

以上の調査・分析からいえること

- ビーチボール大会、ヒスイ海岸でのイベントのように、特定のイベントのために朝日町に集まる人々がいる。
- 若年層が人口減少問題や地方への移住に関心を持っているため「関係人口予備軍」に期待できる。
- しかし人口減少問題や地方への移住に関心を持っていても、実際に人口減少地域を知っている人は少なく、訪れるきっかけがないと訪れない。

政策提言

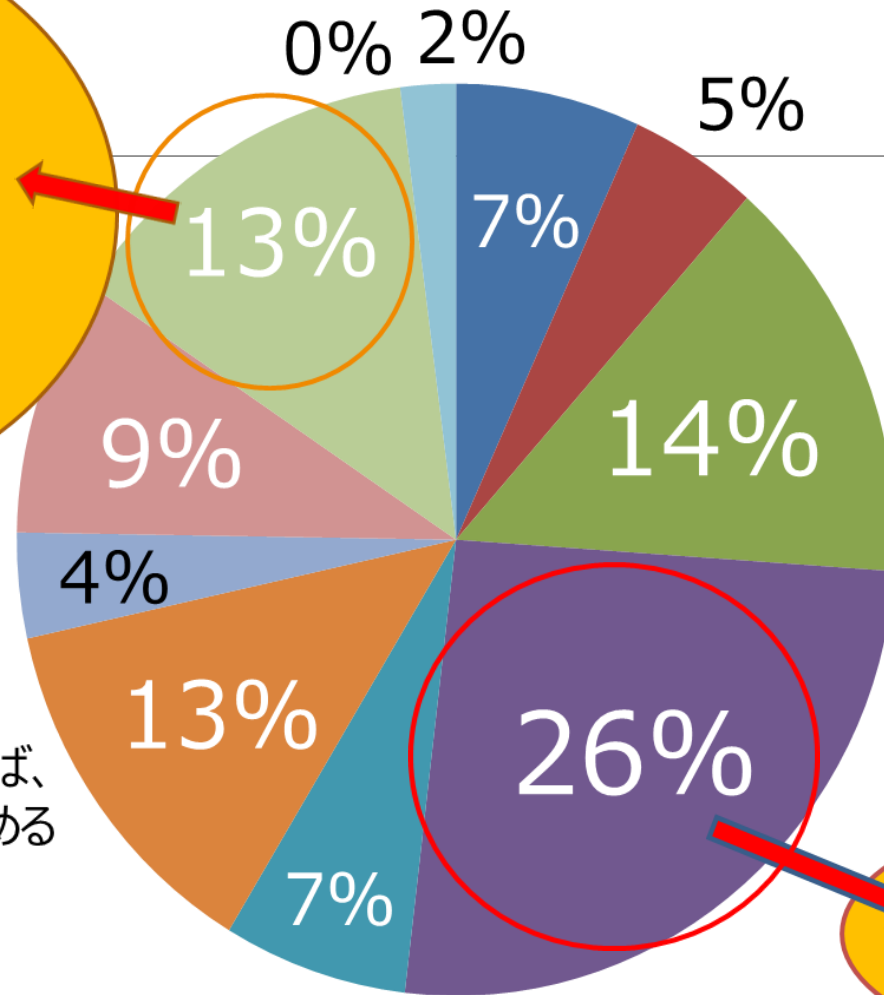
①リピーターを増やす要素を

イベント等により朝日町に来てくれた人を、いかにしてリピーターにするかが問題である。
「また来たい」と思わせるには何が必要か。

⇒繰り返し行きたくなる観光地の要素が
求められる

繰り返し行きたくなる観光地はどのようなところか

いまある**施設**を
有効活用・積極的活用
することが求められる
ex)朝日ヒスイ海岸オート
キャンプ場・
ヒスイテラス・小川温泉



- 歴史的建造物がある
- ランドマークがある
- テーマパークがある
- 食べ物が美味しい
- 家から近い
- 移動費が安い
- 人がやさしい
- 自然が豊か
- レジャー施設がある
- その他
- 無回答

朝日町の食べ物を
知ってもらう必要性あり

設備はあるのでうまく活用すれば、
幅広い年齢層の集客が見込める

富山大学経済学部1年生に対するアンケート調査 (N=118)

①リピーターを増やす要素を：食のPR

【朝日町の特産品】

- タラ汁
 - 赤かぶのまる漬
 - バタバタ茶
- など…

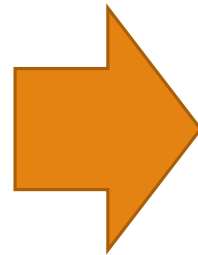
知ってもらうためには…



食べ物のPRを進める
ことが求められる

⇒**県外**へのアピールが必要

- 電車の中吊広告
- ガイドブックや観光情報誌への掲載
- 観光ポスターの作成・掲示
- 宿泊施設へのパンフレットの設置



食べ物が美味しいことを知っ
てもらえる

①リピーターを増やす要素を：施設のPR

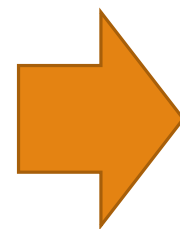
このことは施設の有効活用・積極的活用にもいえる

→「こんな施設がある」ということを知ってもらわないとそもそも誰も利用しない

→よって、**県外への情報発信**が必要である

効率的に情報発信をするには多くの人の目にとまることが大事

- 電車の中吊広告
- ガイドブックや観光情報誌への掲載
- 観光ポスターの作成・掲示
- 宿泊施設へのパンフレットの設置



このような施設があることを事前に知ってもらえる

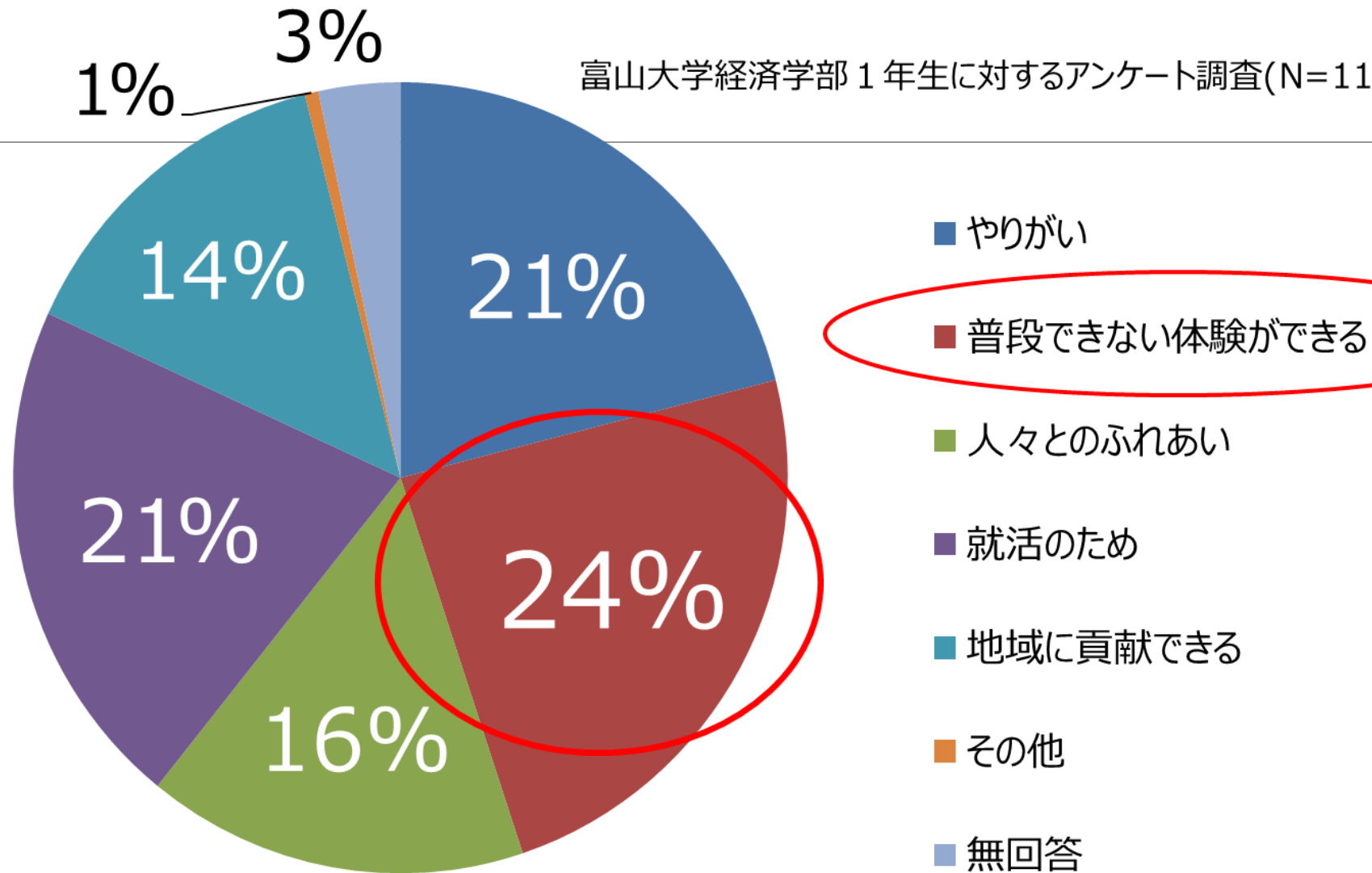
②積極的なボランティアの誘致をする

昭和女子大のインタビューと富大一年生のアンケート結果から、
全国の学生団体に募集を行い、朝日町に積極的なボランティアの誘致
をする

⇒若い人が朝日町を盛り上げる誘因になる

ボランティアをする際、どのような点に魅力を感じるか

富山大学経済学部 1 年生に対するアンケート調査(N=118)



②積極的なボランティアの誘致をする

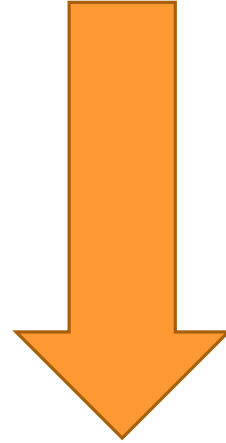
ボランティア活動の具体例としては…

- イベントへの出店(食べ物・参加型ゲームなど)
- サークル活動などのパフォーマンスの披露
(楽器演奏・合唱大会など)

⇒学生たちが自ら朝日町の活性化に携わっていくことが求められる

まとめ

＜問題＞ 朝日町に来てくれた人をリピーター(＝関係人口)にするための対策



＜課題＞

- ・観光資源が自然に偏っているため、長い期間で集客率のあるものがない
- ・朝日町にお金が落ちるシステムの不足
(お土産売り場がない、宿泊施設の不足)
- ・年中楽しむことができるイベントがない

＜提案＞

- 県外への積極的な情報発信
- いまある施設の有効活用・積極的活用
- 定期的なイベントの開催・積極的なボランティアの誘致

参考文献

- 朝日町商工観光課作成資料
- 富山県朝日町の概要『富山県朝日町公式ホームページ』「<https://www.town.asahi.toyama.jp/>」『富山県朝日町観光サイト あさひ暮らし旅』「<https://www.asahi-tabi.com/asahimachi/>」
- 富山県朝日町の地図「map-it.azurewebsite.net」
- 富山県朝日町の産業構造に関する概要『RESAS-地域経済分析システム-』
「<https://resas.go.jp/regioncycle-production/#/portfolio/8.981091537449934/36.709649725/137.2659877/16/16343/2/2013/1/1/-/-/>」
- ヒスイ海岸・春の四重奏の画像「<https://www.asahi-tabi.com>」「<https://www.asahi-tabi.com/sijuusou/>」
- 愛知県の消滅可能性都市『新城市人口ビジョン案』
「<http://www.city.shinshiro.lg.jp/index.cfm/7,43029,c,html/43029/20151221-114936.pdf>」
- 岐阜県の消滅可能性都市『岐阜県人口問題研究会中間報告』
「<https://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/keikaku-kaikaku/chiho-sosei/c11122/jinkou-vision.data/houkoku-honbun2.pdf>」
- 群馬県の消滅可能性都市『群馬県公式ホームページ』「<https://www.pref.gunma.jp/07/a4900371.html>」

参考文献

- 富山県朝日町の人口推計・日本の人口推計『国立社会保障・人口問題研究所』
「<http://www.ipss.go.jp/>」
 - 愛知県名古屋市・富山県富山市・朝日町の人口増減率『ieben 』「<https://ieben.net/>」
 - 富山県朝日町・愛知県名古屋市の人口構成『富山県朝日町公式ホームページ』
「<https://www.town.asahi.toyama.jp/>」
- 『名古屋市公式ウェブサイト』「<http://www.city.nagoya.jp/index.html>」
- 先行文献：大江万梨・濱田悠輔・神原秀政・米田達海・太田尚孝（2019）『関係人口の増加に向けた提案と関係人口が果たす役割に関する考察：家島諸島を事例に』「http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/90006046」

謝辞

アンケート調査にご協力して下さった

- 朝日町商工観光課の皆さま
- ヒスイ海岸訪問者の方々、
- ビーチボール大会訪問者の方々、
- 富山大学経済学部 1 年生の皆さん
- 聞き取り調査にご協力して下さった昭和女子大学の関係者の皆さま

調査にご協力いただきありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました